

水道事業会計

平成29年度上半期 大竹市水道事業損益計算書

(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

	円	円	円
1. 営業収益			
(1) 給水収益	212,143,652		
(2) 受託工事収益	0		
(3) その他営業収益	17,256,000	229,399,652	
2. 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	73,404,275		
(2) 給配水費	26,639,637		
(3) 受託工事費	0		
(4) 業 務 費	12,789,136		
(5) 総 係 費	13,815,012		
(6) 減価償却費	0		
(7) 資産減耗費	0		
(8) その他営業費用	0	126,648,060	
営 業 利 益			102,751,592
3. 営業外収益			
(1) 受取利息	1,353,445		
(2) 一般会計補助金	0		
(3) 負 担 金	7,706,000		
(4) 長期前受金戻入	0		
(5) 資本費繰入収益	0		
(6) 雑 収 益	1,044,297		
(7) 消費税及び地方消費税還付金	0	10,103,742	
4. 営業外費用			
(1) 支払利息	8,265,345		
(2) 繰延勘定償却	0		
(3) 雑 支 出	20		
(4) 消費税及び地方消費税	0	8,265,365	1,838,377
経 常 利 益			104,589,969
5. 特別利益			
(1) 固定資産売却益	0		
(2) 過年度損益修正益	0		
(3) その他特別利益	0	0	
6. 特別損失			
(1) 固定資産売却損	0		
(2) 過年度損益修正損	180,427		
(3) その他特別損失	0		
(4) 予備費	0	180,427	△ 180,427
当期純利益			104,409,542
前期繰越利益剰余金			32,895,763
その他未処分利益剰余金変動額			0
当期末処分利益剰余金			137,305,305

平成29年度上半期 大竹市水道事業会計貸借対照表

(平成29年9月30日)

資 産 の 部

1 固 定 資 産	円	円	円	円
(1) 有 形 固 定 資 産				
イ 土 地		203,423,489		
ロ 建 物	333,648,578			
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 110,018,488</u>	223,630,090		
ハ 構 築 物	5,646,445,163			
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 3,014,816,400</u>	2,631,628,763		
ニ 機 械 及 び 装 置	1,085,584,671			
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 827,747,934</u>	257,836,737		
ホ 車 両 運 搬 具	1,570,669			
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 1,482,621</u>	88,048		
ヘ 工 具, 器 具 及 び 備 品	7,506,180			
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 6,765,801</u>	740,379		
ト リ ー ス 資 産	3,329,264			
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 2,247,252</u>	1,082,012		
チ 建 設 仮 勘 定		76,908,280		
有形固定資産合計			3,395,337,798	
(2) 無 形 固 定 資 産				
イ 施 設 利 用 権		8,641,247		
無形固定資産合計			8,641,247	
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産				
イ 長 期 貸 付 金		663,855,000		
投資その他の資産合計			663,855,000	
固 定 資 産 合 計				4,067,834,045
2 流 動 資 産				
(1) 現 金 預 金		1,339,914,149		
(2) 未 収 金	21,444,170			
貸 倒 引 当 金	<u>△ 3,499,660</u>	17,944,510		
(3) 貯 蔵 品		3,426,818		
(4) 前 払 金		5,002,400		
(5) そ の 他 流 動 資 産		9,152,608		
流 動 資 産 合 計			1,375,440,485	
資 産 合 計				<u>5,443,274,530</u>

負債の部

3 固定負債	円	円	円	円
(1) 企業債				
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	645,751,182			
企業債合計		645,751,182		
(2) リース債務			0	
(3) 引当金				
イ 修繕引当金	6,790,000			
ロ 退職給付引当金	59,291,000			
引当金合計		66,081,000		
固定負債合計				711,832,182
4 流動負債				
(1) 企業債				
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	22,525,256			
企業債合計		22,525,256		
(2) リース債務			510,930	
(3) 引当金				
イ 賞与引当金	0			
ロ 法定福利費引当金	0			
引当金合計			0	
(4) 未払金			0	
(5) その他流動負債			105,377,843	
流動負債合計				128,414,029
5 繰延収益				
長期前受金		1,550,657,660		
収益化累計額		△ 774,385,848		
繰延収益合計			776,271,812	
負債合計				1,616,518,023

資 本 の 部

6 資 本 金	円	円	円	円
(1) 自 己 資 本 金				
イ 固 有 資 本 金	34,905,000			
ロ 組 入 資 本 金	1,636,353,338			
自己資本金合計		1,671,258,338		
資 本 金 合 計				1,671,258,338
7 剰 余 金				
(1) 資 本 剰 余 金				
イ 受 贈 財 産 評 価 額	151,787,510			
ロ 工 事 負 担 金	1,226,411,431			
ハ 他 会 計 負 担 金	199,424,065			
ニ 補 助 金	73,569,858			
資本剰余金合計		1,651,192,864		
(2) 利 益 剰 余 金				
イ 減 債 積 立 金	71,000,000			
ロ 建 設 改 良 積 立 金	296,000,000			
ハ 当 期 未 処 分 利 益 剰 余 金	137,305,305			
利益剰余金合計		504,305,305		
剰 余 金 合 計				2,155,498,169
資 本 合 計				3,826,756,507
負 債 資 本 合 計				5,443,274,530

平成29年度上半期 注記表

I 重要な会計方針

1 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・ 貯蔵品 先入先出法による原価法

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く。)

- ・ 減価償却の方法

定額法

- ・ 主な耐用年数

建物 38 ～ 65 年

構築物 10 ～ 60 年

機械及び装置 5 ～ 40 年

車両運搬具 2 ～ 5 年

工具、器具及び備品 3 ～ 20 年

(2) 無形固定資産

- ・ 減価償却の方法(リース資産を除く。)

定額法

- ・ 耐用年数

施設利用権 15 ～ 20 年

(3) リース資産

- ・ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。

- ・ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

地方公営企業法施行規則第55条第2号の規定により、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

- ・ 職員の退職手当の支給に備えるため、当期末における職員に対する退職手当の要支給額(63,280,000円)から、広島県市町総合事務組合における積立金相当額(3,989,000円)を控除した金額を計上している。

(2) 貸倒引当金

- ・ 債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等により回収不能見込額を計上している。

(3) 修繕引当金

- ・ 平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととしている。

4 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II 貸借対照表等関連

企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債(当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。)のうち、他会計が負担すると見込まれる額は58,603,699円である。

Ⅲ リース契約により使用する固定資産

賃貸借処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引に関する事項

未経過リース料相当額

1年内	<u>2,464,000</u>	円
-----	------------------	---

計	<u><u>2,464,000</u></u>	円
---	-------------------------	---

Ⅳ その他の注記

賞与引当金及び法定福利費引当金の取崩し

平成29年度において、期末勤勉手当を支給するため、賞与引当金5,243,211円、法定福利費引当金977,413円を取り崩した。

平成29年度上半期 大竹市水道事業報告書

1. 概 況

(1) 総括事項

水道事業

本市の水道事業は、給水人口の減少や景気の影響に加え節水意識が定着していることにより、使用水量が平成6年をピークに年々減少しており、今後もこの傾向が続くと思われる。

このような状況下、安全で良質な水の安定供給を図りながら、歳出面においては経費の節減等による経営の合理化に努める一方、歳入面においても積極的な収納確保に努めていきます。

また、今後の課題として老朽化した施設の改築更新に対応していくためにも、計画的な施設改良に取り組んでまいります。

① 営 業

平成29年度上半期の有収水量は、1,633,544^m³（1日平均9,025^m³）で、平成28年度下半期と比較して、23,597^m³（1.4%）の減少となりました。

② 建設改良（消費税及び地方消費税込み）

平成29年度上半期に実施した主な工事（業務）は、以下のとおりです。

・小森谷川上下水道管移設工事（上水道分）（平成28年度繰越分）

総工事費	1,438,170円
------	------------

・元町二丁目地内配水管改良工事	総工事費	1,299,240円
-----------------	------	------------

③ 経理の状況

平成29年度上半期における収支の状況は次のとおりです。

収益的収支	収入総額	239,503,394円
（消費税及び地方消費税抜き）	支出総額	135,093,852円
	差引利益額	104,409,542円

資本的収支	収入総額	0円
（消費税及び地方消費税込み）	支出総額	43,181,466円
	差引不足額	43,181,466円

(2) 議会の議決事項

① 予算決算に関する事項

議決年月日	議案番号	件名
H29. 6. 13	報告第3号	予算繰越しの報告について
H29. 9. 26	議案第54号	平成28年度大竹市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

② 条例に関する事項

該当事項なし

(3) 職員に関する事項

① 職員の平均給料

平均給料月額	平均年齢	平均勤続年数	人 員	備 考
344,950円	45歳	19年1月	10名	

② 市長の同意を必要とする主要職員の任免

任免年月日	職 名	就 任 者	退 任 者
平成29年 4月 1日	上下水道局長	吉岡 和範	平田 安希雄

③ 給与改定

該当事項なし

(4) 料金その他供給条件の設定, 変更に関する事項

該当事項なし

2. 工事の概況

(1) 建設工事及び改良工事の概況

工 事 名	工 事 内 容	総工事費	着工期日 竣工期日	備 考
(原水浄水設備改良事業) 紫外線照射設備ストレー ナスクリン取替工事	紫外線照射設備ストレーナスクリン取替一式	円 1,188,000	年月日 H29.6.9 H29.8.31	
小 計		1,188,000		
(配水設備拡張事業) 岩国市・大竹市連絡管布 設工事	配水管布設工 ポリエチレン管 (HPPE φ 150) L=5.0m	円 403,920	年月日 H29.4.20 H29.5.12	
小 計		403,920		
(配水設備改良事業) 元町二丁目地内配水管改 良工事	配水管布設工 ポリエチレン管 (HPPE φ 50) L=59m 既設配水管撤去工 塩化ビニル管 (VP φ 40) L=65m	円 1,299,240	年月日 H29.4.17 H29.5.26	
小 計		1,299,240		
(配水設備改良事業〔線越分〕) 小森谷川上下水道管移設 工事(水道事業会計分)	配水管移設工 鋳鉄管 (DCIP φ 100) 添架部 L=4.9m 鋳鉄管 (DCIP φ 100) 基礎部 L=12.0m 既設配水管撤去工 鋳鉄管 (DCIP φ 100) L=8.0m 舗装復旧工1式	円 1,438,170	年月日 H29.1.5 H29.5.31	工事費は 平成29年度分
小 計		1,438,170		
合 計		4,329,330		

(2) 保存工事の概況

区 分	工 事 内 容	工 事 費			備 考
		工事請負費等	材料費	計	
原 水 及 び 浄 水 設 備	防塵水源地非常用通報装置修繕	円 81,000	円 0	円 81,000	
給 配 水 設 備	唐船浜配水池フェンス修繕外17件	9,267,480	0	9,267,480	
量 水 器 設 備	量水器取替工事	0	0	0	
合 計		9,348,480	0	9,348,480	

3. 業 務

(1) 業務量

① 給水戸数及び給水人口

年度別		平成29年9月30日現在		平成29年3月31日現在		比 較			
種 別	区 分	給水 戸数	給水 人口	給水 戸数	給水 人口	給 水 戸 数		給 水 人 口	
						増 減	比 率	増 減	比 率
		戸	人	戸	人	戸	%	人	%
上 水 道		12,542	26,989	12,467	27,018	75	100.6	△ 29	99.9

② 配水量及び有収水量

期別		平成29年度上半期		平成28年度下半期		比 較	
種 別						増 減	比 率
		m ³		m ³		m ³	%
配 水 量	水 源 地	1,645,240		1,740,820		△ 95,580	94.5
	県 用 水	387,434		382,682		4,752	101.2
	合 計	2,032,674		2,123,502		△ 90,828	95.7
1 日平均配水量		11,230		11,541		△ 311	97.3
1 日最大配水量		H29.2.2 13,071		H29.1.17 12,930		141	101.1
有収水量		1,633,544		1,657,141		△ 23,597	98.6
1 日平均有収水量		9,025		9,006		19	100.2
有 収 率		80.4%		78.0%		2.4	103.1

※上水道は、2ヶ月後に料金が賦課されるので、配水量は2月から7月までが上半期となる。

4. 会 計

(1) 重要契約の要旨

① 工事請負契約

該当事項なし

② 業務委託契約

契約年月日	契 約 額	契 約 内 容	契約の相手方
	円		
H27. 3. 18	511,920,000	大竹市防鹿水源地等運転管理業務 (工業用水道事業との共同契約額) 契約期間：H27. 4. 1～H32. 3. 31 上記のうち平成29年度水道事業対象額	(株)ジェイ・チーム 西部支店
H28. 3. 31	△194,922		
H29. 3. 31	△3,237,890		
	(508,487,188)		
	73,512,634		

二段書きは上段が当初契約，下段が変更契約，（）内は合計額

③その他の契約

契約年月日	契 約 額	契 約 内 容	契約の相手方
	円		
H25. 1. 18	41,376,300	大竹市上下水道料金システム及び大竹市公営企業会計 システム等一式に係る賃貸借契約 (工業用水道事業・公共下水道事業との共同契約額) 契約期間：H25. 1. 18～H30. 3. 31 上記のうち平成29年度水道事業対象額	(株)日立システムズ 中国支社 日立キャピタル(株)
H26. 4. 1	460,800		
	(41,837,100)		
	5,430,360		

二段書きは上段が当初契約，下段が変更契約，（）内は合計額

(2) 企業債及び一時借入金の概況

① 企業債の概況

区 分	借 入 先	前年度末残高	当年度借入高	当年度償還高	当年度末残高
水 道 事 業		円	円	円	円
	財 務 省	205,774,610	0	11,753,187	194,021,423
	地 方 公 共 団 体 金 融 機 構	484,661,490	0	10,406,475	474,255,015
	合 計	690,436,100	0	22,159,662	668,276,438

② 一時借入金の概況

該当事項なし

(3) その他会計経理に関する重要事項

該当事項なし

(4) 受贈財産の取得状況

受贈年月日	種類		譲渡者名	受贈財産評価額
H29.7.5	配水管	立戸二丁目地内 P E 管 φ50 L=19.95m H I V P 管 φ25 L=3.2m ソフトシール仕切弁 1基 プレインゲートバルブ φ25 1基	(株)加納	923,250
合 計				923,250